（法第28条第1項関係「前事業年度の事業報告書」）

平成３０年度事業報告書

平成３０年４月１日から平成３１年３月３１日まで

特定非営利活動法人 水辺に遊ぶ会

１　事業実施の実績

①　自然に関する理解を深めるための啓発活動の推進

・自然観察会については例年同様の実施となったが、天候不順や夏の異常高温により全般的に参加者が少なめであった 。観察会への大学生のボランティア参加があり、参加者とふれあいが持てたことが良かった。

・活動拠点である「ひがたらぼ」でのワークショップなどの行事が定着化しつつある。また、これに参加した子どもたちの中に行事と関係なくひがたらぼを訪れる子どもが出てきたことは喜ばしいことであり、当会の目的のひとつである「理科好きな子ども」を増やすという面で大切にしたい動きである。

・「ひがたらぼ」については子どもだけでなく、訪問者が日常的に増加している。これらの訪問者の中から、調査などの活動に参加する人も出てきていることから、ボランティアスタッフの候補人材として交流を図りたい。

・学校関係や社会教育の場からの講師依頼は例年より増加した。今後の課題として、講師を務められる人材の育成や発掘が求められる。

・中津干潟アカデミアの第2回研究発表会を12月に実施した。参加者も多く、皆熱心に聞いていた。参加者の感想も概ね好評であった。発表者のプレゼンテーションも前回よりもわかりやすく、更に、大学生たちの発表が工夫されていて1回目の反省や課題が活かされた内容になっていたと感じられる。また、今年は小学生や高校生の参加者も少数だがあった。目的とする中高生の参加をどのように図っていくかが 3回目の大きな課題であるが、順調な滑り出しであると思われる。

②　調査研究活動

・本年度は中津市より干潟調査の委託があったため、初めての試みである海苔漁場の塩分濃度調査や特定外来種であり中津市内で生息拡大が懸念されるアライグマの出現状況調査なども手がけた。1年という期間では成果を上げることはできないが、中津干潟の水質が複雑なことや、大新田海岸にキツネやオオタカなどが生息することなどを知ることができた。

・カブトガニ調査については、一部日本文理大の学生や海洋大の学生と共同調査を行った。子どもの頃に中津干潟を訪れ興味を持ったという学生が卒業研究にカブトガニをテーマに取り上げてくれるというのは大変うれしいことで、 20年の活動の成果だと感じている。

・シギチドリ調査については、大阪南港ウェットランドグループをはじめ、多くの外部協力者のおかげで、中津干潟の重要性が明らかになりつつあり、国内外からの保全に向けた注目も高まっている。

・本年度初めの取り組みとして、日本文理大学との共同研究として、干潟学習の児童の情操に与える効果調査を行った 。取り組み開始が遅くなりデータが少数しかとれなかったが、次年度は本格的に取り組みたい。

③　海岸清掃ほか環境美化や廃棄物問題に関する啓発活動

・海岸清掃、松林景観再生活動ともに今年度も多くの参加を得て実施できた。

・毎年例年の新入生ガイダンスの一環として清掃と松林に取り組んでいる県立工科短大に加え、本年は小楠小学校、東中津中学校がボランティア活動に取り組んでくれた。この流れを一過性ではなく恒常的にするための働きかけを今後検討したい。

・大分県の委託事業で「児童向け海ごみ学習用冊子」の企画・編集・制作を行った。これまで20年に渡り実施してきたビーチクリーンや漂着物調査、啓発活動の成果を存分に活かした冊子を発行することができたことは、今後の活動の励みになった。県内での積極的な取り組みにつながることを期待したい。

④　ブルーツーリズムなどの地域振興を推進する活動

・海苔の不漁により2年連続で海苔漉き体験が実施できなかったのが残念である。参加者に高評価な行事であることから、次年度は原藻の確保の時期などを工夫して実施したい。

・アカニシを使った染物のワークショップを開始したが、ツーリズムや漁業振興につながる兆しが見えることから、次年度も発展的な展開を考えたい。

⑤　自然環境に関する情報の収集・蓄積・発信

・ガタガタ通信が昨年度より年３回の発行しかできなくなっており、編集作業の分業化など何らかの対策が必要になっている。

・ＨＰリニューアルにより、アクセス数などの分析が可能となった。今年度会員数が減少したことは大きな問題であり 、会の活動を理解し、支援してくれる会員を増加させるためにもより積極的な情報発信のための検討を行う必要がある。

⑥　民間および公共団体の環境に関する事業に対する支援・提言など

・舞手川河口で実施している養浜の試みが４年になるがカブトガニの産卵場所の確保と海岸の保全、河口閉塞の防止という面で効果を上げている。今後も大分県土木や研究者とともに、より良い海岸づくりを実施したい。

・年度末にベッコウトンボの生息池周辺で大きな環境改変が行われた。これに関して関係行政や地域住民との合意形成が必要になると思われ、中津市への働きかけを開始したところである。今後も地域と密接な関係を持ちながら保全への働きかけを行っていきたいと考える。

⑦　持続可能な社会を追究するためのその他の活動・

・昨年度でセブンイレブン記念財団の助成が終わり、専従スタッフの人件費の捻出が最大の課題であった１年だったが 、大分県の委託事業により事業費を得ることができた。しかし４年前より大きな課題としている基盤強化や自立した活動を行うための資金の確保はほとんど達成できない年度であった。これは理事他事務局スタッフ一同でもう一度真剣に考え、自覚を持って運営に関わる必要がある。次年度への課題として皆の自覚を促したい。

・活動拠点中津ネイチャーセンター「ひがたらぼ」が定着しつつあることは①で触れたが、より活発な活動拠点としての利用を考えると、施設の拡張を考えたいところである。予算はもちろん土地の問題等、今後の検討課題である。

⑧その他

・活動は例年通り活発に行われたが、干潟や水辺環境の保全、動植物の保護という意味では全く進展が見られないのも現実がある。残念なことに活動を行っているベッコウトンボの池では環境改変が行われ、これに対する積極的な措置が行われなかったことも現実として深刻に受け止めないといけない。行政への積極的な働きかけや市民全体の意識の醸成、情報の発信など、本来の目的である「環境保全」についても今後どのような展開を行うか検討する必要がある。

２　事業の実施に関する事項

特定非営利活動に係わる事業

定款の事業名							
事業内容		実施月日	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲	受益対象者の人数	支出額（円）
①　自然に関する理解を深めるための啓発活動の推進							
自然観察会	トンボ観察会	5/3	野依地区	7名	市民他	54名	1,816,811
	ガタフェス	5/26	大新田	44名	市民他	46名	
	山国川ｵｻｶﾅ観察会	7/21	山国川	11名	市民他	59名	
	夏休み干潟観察会	7/28	大新田	12名	市民他	91名	
	アカテガニ観察会	中止					
	ｽﾞｸﾞﾛｶﾓﾒと冬鳥観察	12/2	東浜	7名	市民他	34名	
その他行事	海の絵コンテスト	夏休み	中津市内	4名	児童	590名	
	ｱｶﾃﾞﾐｱｵｰﾌﾟﾝﾗﾎﾞ	8/4･23･25	ひがたらぼ	19名	市民他	21名	
	夏休みﾜｰｸｼｮｯﾌﾟ	8月23日間	ひがたらぼ	5名	市民他	104名	
	ひがたかふぇ	5･7･9･1･3月	ひがたらぼ	3名	市民他	28名	
小中学校での環境学習指導		27回	中津市･外	59名	児童	1584名	
中学校での環境学習指導		2回	中津市･外	2名	生徒	189名	
短大･大学の環境学習講師		5回	中津市･外	7名	学生	240名	
社会教育の場などでの講師		13回	中津市･外	20名	児童･市民他	約450名	
企業･その他団体他での講師		4回	中津市･外	4名	市民他	約235名	
学会等での発表		1回	中津市外	1名	一般	約20名	
中津干潟アカデミア		12/23	小楠ｺﾐｭﾆﾃｨ	14名	児童･市民他	約150名	
②　調査研究活動							
生物調査（カブトガニ）		16回	中津干潟	27名	学生･市民他	12名	1,300,419
生物調査（シギチドリ類他）		15回	中津干潟	52名	学生･市民他	48名	
生物調査（RDB見直し調査）		4回	中津干潟他	18名	学生･市民他	12名	
生物調査（ベッコウトンボ･環境）		8回	野依地区他	14名	学生･市民他	14名	
その他（ｱﾗｲｸﾞﾏ･漁場塩分･地形）		77回	中津干潟	80名	学生･市民他	4名	
他機関との協働(水産大･文理大･九州大･群馬大･海洋大）		14回	中津干潟他	3名	学生･市民他	97名	
③　海岸清掃ほか環境美化や廃棄物問題に関する啓発活動							
ビーチクリーン	大新田海岸	5/20･9/16･12/2	大新田	25名	市民他	540名	2,394,424
	三百間海岸	2/24	三百間	10名	市民他	180名	
	漂着物調査	2回	大新田	5名			
	学生への指導	1回	大新田	2名	学生	140名	
児童向海ごみ学習用冊子作成		8月～11月	大分県内	4名	児童･県民他	15700冊	
松林景観再生	一般参加作業	5/20･9/16･12/2	大新田	4名	市民他	146名	
	ガタフェス	5/26	大新田	44名	児童･市民他	46名	
	専門作業	14回	大新田	14名	学生･市民他	20名	
	学生への指導	3回	大新田	5名	児童･学生他	198名	
④　ブルーツーリズムなどの地域振興を推進する活動							
魚食推進	帝王紫ﾜｰｸｼｮｯﾌﾟ	7/25	ひだまり	6名	児童･市民他	11名	494,064
	海苔巻き教室	10/14･2/17	小楠ｺﾐｭﾆﾃｨ	13名	児童･市民他	37名	
	ベタ料理教室	3/17	南部公民館	9名	児童･市民他	28名	
地域振興	アカニシ染め指導	9/9	中津市内	3名	幼児･保護者	20名	
	紫染ﾜｰｸｼｮｯﾌﾟ関連	3回	大分県内	7名	市民他	60名	

⑤　自然環境に関する情報の収集・蓄積・発信						
会報誌発行	3回	国内	3名	国内	1500名	15,695
ホームページ維持管理	通年	国内	2名	不特定		
生物データベース管理	通年	国内	3名	不特定		
環境イベント出展	2回	今津・TOTO	14名	不特定		
⑥　民間および公共団体の環境に関する事業に対する支援・提言など						
野依新池ベッコウトンボ保全作業	11/25	野依地区	8名	市民他	32名	39,944
五十石川連携ほか	通年	中津市内	2名	市民他		
海岸事業に関する検討	通年	中津市内	4名	行政・市民		
ﾍﾞｯｺｳﾄﾝﾎﾞ保全に関する検討	通年	中津市内	2名	行政・市民		
中津市NPO講座講師	2回	中津市内	2名	行政・市民	75名	
⑦　持続可能な社会を追究するためのその他の活動						
「ひがたらぼ」運営	通年	ひがたらぼ	5名	不特定		817,684
NPO基盤整備	通年	ひがたらぼ	5名	不特定		
商品（ｶﾌﾞﾄｶﾞﾆｻﾌﾞﾚ・海苔他）販売	通年	中津市・外	3名	不特定		